

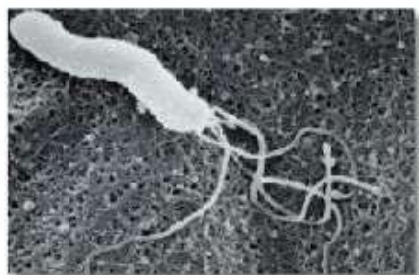
採血オプションのトピックス！

- 項目追加のみで、重要な情報が得られます
- 追加希望や質問は、スタッフまでお願いします

項目	目的	料金
抗ヘリコバクター ピロリ抗体	ピロリ菌感染の有無	4,800 (セット)
ペプシノーゲン	萎縮性胃炎の有無	
アクロレイン	隠れ脳梗塞の発見	9,000

ピロリ抗体 + ペプシノーゲン

ピロリ菌感染 → 萎縮性胃炎 → 胃癌(腺癌)



胃がんはピロリ菌が感染し慢性胃炎をベースとして発症することがほとんどです



- * 血液中のピロリ抗体を調べれば、ピロリ菌感染の有無がわかります
- * ペプシノーゲンにより、萎縮性胃炎の有無がわかります
- * バリウム検査に比べ早期胃がんを 2.7倍 発見できるので、バリウム検査を選択した方は、是非測定してください

検査後の対応

ピロリ菌抗体	ペプシノーゲン	胃がんリスク (年間胃がん発生割合)	対応
－	－	非常に低い	定期健診
＋	－	低い	ピロリ除菌
－	＋	高い (400人に1人)	内視鏡
＋	＋	非常に高い (80人に1人)	内視鏡＋除菌

*ピロリ菌を内服薬で除菌すると、胃がん発生率は減少します

*ペプシノーゲン陽性は、胃がんハイリスクですので、半年ごとに内視鏡検査を受けましょう

早期がんの発見：抗p53抗体



- ◆がんは、日本人死亡原因 1位
- ◆早期発見による治療が、大切です
- ◆抗p53抗体は、多くのがんの早期発見に役立ちます
- ◆他の腫瘍マーカーと同時に測ることで、がんの部位も推測できます

→異常値の場合は、外来受診をお勧めします